

静岡県勤労者協議会連合会

HP <http://kinrokyo.net/shizuoka>

e-mail 2025@kinrokyo.net

被爆 80 年 侵略戦争の誤りを次世代へ継承 今年も夏の各地区で「ミニ平和集会」を開催



2025 年度原水爆禁止静岡県民会議総会が7月27日14時から、静岡市労働会館で開催されました。

橋本代表委員の挨拶

同総会では、主催者を代表して橋本勝六原水爆禁止静岡県民会議代表委員より、

「①第2次世界大戦における最大の被害国は中国であり、そしてア

ジア諸国でした。1931年の満州事変以降では、日本軍によって殺りくされた民間人死者は1800万人以上、抗日戦争による軍人死者380万人以上、合計2180万人以上というのが中国政府見解となっています。

②戦争を引き起こした側の日本人の戦没者が政府発表で軍人・軍属・市民合わせて310万人という数字を見る時、改めて中国を中心としたアジアが受けた犠牲の巨大さに圧倒しています。

③7月の参議院選挙で一部の野党が『極右勢力』となり、外国人を差別するのを正当化して、ファシズムの如く『核共有論』を煽っていますが、今年は「被爆80年の原水爆禁止世界大会を迎えます。同時に、『昭和100年』という節目の年」でもあります。従って、私たちは戦後50年の「村山談話」を再確認しながら、戦争が「日本が他国への侵略から戦争が始まった事実を次世代へ継承させていく事が重要となっています。

④核兵器廃絶の為には、日本政府が進めている軍事暴走をストップさせる事です。私たちは高校生平和大使の運動を支えながら、「核の無い平和な社会を実現させる為に次世代へ運動を継承させましょう。」と、訴えました。

同総会が終了後には、「被災80周年原水爆禁止世界大会参加者結団式・第28代高校生平和大使・2025年長崎派遣代表任命式」が開催されました。(1)第28代高校生平和大使には、水野可憐さん。(2)2025年長崎派遣代表には、大塚ほなみさん。へ任命証が授与されました。

その後、2024年高校生平和大使を務めた「第27代高校生平和大使の谷河優那さん」、「2024年長崎派遣代表の水野可憐さん」から、活動報告がされました。



「侵略戦争 80 年中国への侵略とは」

日本の中国侵略は、1931 年の満州事変から 1945 年の日本の敗戦まで、14 年間に及ぶ。中国ではこの戦争を「抗日戦争」と呼んでいる。日本は明治維新後、西洋列強の侵略主義を模倣し、「富国強兵」政策による領土拡張と植民地化を進めた。日清・日露戦争に勝利し、朝鮮を併合した後、中国東北部へ進出し、中国全土に甚大な被害をもたらした。

侵略の主な出来事

- ・ 満州事変（1931 年）：日本軍が満州を占領し、傀儡国家「満州国」を樹立。
- ・ 平頂山事件（1932 年）：日本軍が撫順炭鉱を襲撃した抗日義勇軍への報復として、平頂山地区の住民 3000 人以上を虐殺。
- ・ 盧溝橋事件（1937 年）：北京郊外の盧溝橋で日中両軍が衝突し、日中戦争が勃発。
- ・ 南京事件（1937 年）：日本軍が南京を占領した際、投降兵や一般市民に対する虐殺事件が発生。中国人虐殺は 20 万人に及ぶ。

中国は第二次世界大戦において枢軸国と最初に交戦した連合国であったが、その貢献は欧米諸国に比べて軽視されてきた。しかし、中国人民は徹底抗戦し、日本の侵略に打ち勝った。

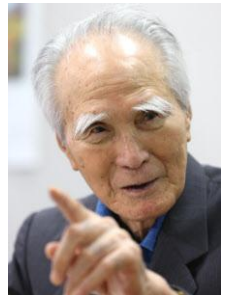
被爆 50 年の村山談話とは

村山談話とは、1995 年 8 月 15 日に、当時の内閣総理大臣であった村山富市が、戦後 50 周年の終戦記念日にあたって発表した声明です。この談話は、日本の過去の植民地支配と侵略によって、多くのアジア諸国の人々に多大な損害と苦痛を与えたという歴史的事実を認め、痛切な反省と心からのお詫びを表明したものです。

村山談話は、以下の要素を含んでいます：

- 過去の過ちに対する反省：日本の過去の国策の誤りにより、多くの国々、特にアジア諸国の人々に対して多大な損害と苦痛を与えたことへの痛切な反省とお詫び。
- 不戦の決意：過去の過ちを二度と繰り返さないために、戦争の悲惨さを若い世代に語り継ぎ、アジア太平洋地域ひいては世界の平和を確かなものとしていく決意。
- 国際協調の重視：責任ある国際社会の一員として、国際協調を促進し、平和の理念と民主主義を推進していく。

近隣諸国との友好関係：近隣アジア諸国との間に深い理解と信頼に基づいた関係を培い、相互理解と相互信頼という不動の土台を築くことの重要性。村山談話は、その後の日本政府の公式な歴史認識の基礎となり、歴代内閣によって継承されています。ただし、安倍晋三首相（当時）は、2015 年の戦後 70 年談話において、村山談話の文言を間接的な表現で盛り込み、日本の行為としての侵略や植民地支配については明示しませんでした。2025 年の戦後 80 年には、石破茂首相は首相談話を発表しませんでした。



戦後 80 年、ついに軍艦を輸出する国になった日本、武器「3 原則」なし崩しへ。

2025 年 8 月 6 日 東京新聞

日本とオーストラリア両政府は 5 日、豪州が他国との共同開発で導入を目指す汎用（はんよう）フリゲート艦について、日本が提案する海上自衛隊の最新鋭護衛艦「FFM」（もがみ型）をベースにした艦艇に決定したと発表した。価格交渉で最終合意すれば完成品を輸出する。FFM は長距離ミサイルを搭載できる殺傷兵器。英国、イタリアと共同開発を進める次期戦闘機に続き、大型殺傷兵器の輸出がなし崩しで拡大する。戦後 80 年の節目の年に、憲法の平和主義は形骸化が鮮明になった。（大野暢子、坂田奈央）

◆最大 9500 億円、11 隻を建造

中谷元・防衛相は5日の会見で「特別な戦略的パートナーである豪州との安全保障協力をさらなる高みに引き上げる大きな一歩だ」と述べた。



←海上自衛隊の最新鋭護衛艦「FFM」（もがみ型）

計画規模は最大 100 億豪ドル（約 9500 億円）で、計 11 隻を建造する。2026 年初頭に最終契約を結び、2029 年の納入開始を目指す。11 隻のうち最初の 3 隻は三菱重工業などが日本国内で建造する予定だ。

安倍政権以降の安全保障政策を巡る主な動き

2014年	4月	「武器輸出三原則」を見直し「防衛装備移転三原則」を閣議決定
	7月	憲法9条の解釈を変更し、集団的自衛権の行使容認を閣議決定
15年	5月	政府が安全保障関連法案を国会に提出
	9月	与党が採決を強行し成立
16年	3月	安保関連法が施行
22年	12月	安保3文書を改定し、防衛費を5年間で総額43兆円まで増やす方針や、敵基地攻撃能力(反撃能力)保有を閣議決定
23年	12月	装備移転三原則と運用指針を改定し、兵器の輸出条件を大幅緩和
24年	3月	次期戦闘機の第三国輸出を容認
	11月	石破政権 オーストラリアへの護衛艦輸出を容認

真珠湾攻撃とは 日本は熱狂しアメリカは激怒した

1941 年 12 月 8 日（日本時間）、日本軍はハワイにあるアメリカ太平洋艦隊の拠点を実空襲しました。これが「真珠湾攻撃」です。そのおよそ 1 時間前には、イギリス領だったマレー半島（現在のマレーシア）にも上陸、日本はアメリカ・イギリスという大国との戦争に踏み込んでいったのです。

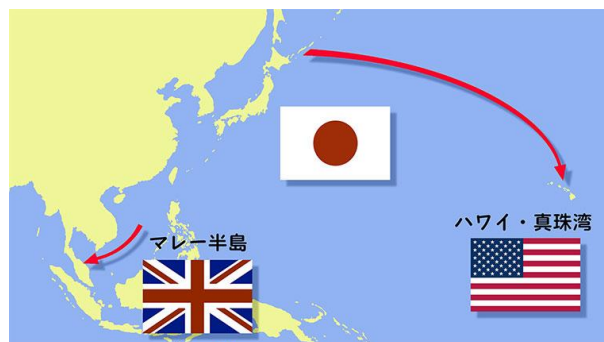


ハワイ真珠湾とマレー半島への奇襲

真珠湾攻撃はアメリカ側の虚を突くための極秘作戦でした。現在の北方領土・択捉島を出航した大型空母 6 隻を中心とした大艦隊は、航海中に発見されないよう、気象条件の悪い北方の航路を進み、無線の使用も禁止しました。12 日後、ハワイの北方 426 キロほどの地点に到達。空母から攻撃隊が真珠湾に向けて飛び立ちました。

真珠湾にはアメリカ太平洋艦隊の戦艦 8 隻など、85 隻が停泊していました。日本の攻撃隊は魚雷などで戦艦 4 隻を撃沈、その他の戦艦・巡洋艦などに大損害を与え、188 機の航空機を完全に破壊しました。

虚を突かれたアメリカ側は有効な反撃ができず、死者は民間人含め 2402 人にのぼりました。アメリカ兵は「手の施しようがないように見えた。皮膚は焼け、重油まみれのぐちゃぐちゃになった傷口からは骨が見えていた。何人かは骨から生肉がぶら下がっていた」とその惨状を証言しています



(NHK スペシャル「新・ドキュメント太平洋戦争 1941 開戦」2021 年放送より)。

炎に包まれる真珠湾のアメリカ海軍施設（アメリカ国立公文書館）



真珠湾攻撃の1時間前、日本陸軍はマレー半島に上陸し、イギリス軍の拠点があったシンガポールに向けて進軍を開始しました。その2日後には海軍が、イ

ギリスが誇る2隻の戦艦を航空機からの攻撃で沈めました。当時のイギリスは、世界中に多くの植民地を持つ巨大な帝国で、この敗北のショックは計り知れないものでした。チャーチル首相は「(戦争中) 私はこれ以上の直接の衝撃を受けたことはなかった」と回想しています(ウィンストン・チャーチル『第二次大戦回顧録』毎日新聞社)。

喜びに沸く日本社会



12月8日は月曜日でした。出勤や登校の準備に慌ただしい朝、ラジオから臨時ニュースを告げるチャイムが流れました。「帝国陸海軍は、今8日未明、西太平洋において米英軍と戦闘状態に入れり」。この後、繰り返し臨時ニュースが流れて大戦果が報じられ、日本社会の空気は一変しました。

(参考: 開戦を伝えるラジオの臨時ニュースを聞く)
大通りにあるラジオで開戦の知らせを聞く人々(日本ニュース第79号)

“だまし討ち”と激怒したアメリカ

真珠湾攻撃が行われる前まで、日本はアメリカとの衝突を避けるため、日米交渉をつづけていました。攻撃の30分前に交渉打ち切りがアメリカ側に通告される予定でしたが、実際に文書が手渡されたのは真珠湾攻撃後のこと。日本大使館による文書作成の不手際によるものとされていますが、詳しい経緯はわかりません。尚、イギリスに対しては事前の交渉がないまま攻撃を始めています。

ハワイやアメリカ本土では、日本軍による次の攻撃があるのではないかと恐怖と混乱が広がりました。各地で空襲警報が鳴り響き、食料買い占めなどのパニックが起きました。

攻撃の翌日、ルーズベルト大統領は議会で、日本側の通告には「戦争や武力攻撃への警告や示唆はなかった」、日本側は対話をつづけた裏で周到に攻撃を準備していたと激しく非難しました。真珠湾攻撃は「だまし討ち」として、アメリカ国民の激しい怒りを招くことになったのです。一方で大統領は、日米関係の緊張の高まりから、戦争になるおそれを認識していました。ただ、攻撃の日時や場所までは把握できていなかったと、多くの専門家は考えています。

演説するルーズベルト大統領

ヨーロッパではすでに、日本の同盟国であるドイツ・イタリアとイギリス・ソビエト連邦との戦争が始まっていました。真珠湾攻撃を機に、アメリカが英ソ側に加わって「連合国」を形成し、戦場はヨーロッパからアジア・太平洋に広がる文字通りの世界大戦となりました。



東南アジアの大部分を勢力下に

真珠湾攻撃の後も、日本軍の快進撃が続きました。12月25日に香港を、翌年の2月15日にシンガポールを占領、5月までにジャワ(オランダ領)、ビルマ(イギリス領)、フィリピン(アメリカ自治領)と、東南アジアの大部分を勢力下に収めました。

シンガポール占領を祝い全国各地で祝賀行事が催された

(日本ニュース第90号)

一方で、戦果の陰には凄惨な現実がありました。マレー作戦に従軍し、重傷を負った陸軍第五師団所属の三好正顕中尉は「負傷患者達はあちこちよりうめき声盛んにきこゆ。自分の隣に並んで収



容されていた兵も「お母さんお母さん」と唸って居たが夜半頃は動かなくなった」と記しました（NHK スペシャル「新・ドキュメント太平洋戦争 1941 開戦」2021 年放送より）。また、シンガポールでは、多くの中国系の住民を「抗日分子」として殺害したと、戦後に元憲兵が証言しています。しかし、こうした現実が国内の人々に伝えられることはありませんでした。

三好中尉は「何とか早期に平和が訪れないものであろうか」と願いましたが、戦争はその後 4 年近くつづき、多く

の将兵たちが飢えや病とも戦いながら、命を落としていきました。そして、銃後の人々も戦火にさらされることになるのです。

戦場の現実には伝えられないまま多くの国民が大戦果に熱狂していきました。

2025 年「被爆 80 周年原水爆禁止世界大会・広島大会」が開会しました



8 月 4 日、「被爆 80 周年原水爆禁止世界大会・広島大会」開会総会が広島市・グリーンアリーナで行われ、約 2200 人が参加しました。

本総会の司会是新藤莉々依さん（高校生 1 万人署名活動 OP）が務めました。はじめに、参加者全員で広島・長崎、そしてすべての核被害者に黙とうを捧げました。

主催者あいさつ

昨年、日本被団協のノーベル平和賞受賞は、核使用が危惧される情勢のなか、被爆者の活動への期待が高まっていることが背景にあるとしました。また、70 年前の第 1 回原水禁世界大会で確認された、原水爆が禁止されてこそ被害者の真の救済が実現されるとのことばを引き、あらためてそのことをめざしとりくむことを参加者に呼びかけました。（以下、一部を略します）



日本被団協代表委員で広島県被団協理事長の箕牧智之さんから被爆証言を受けました。箕牧さんは東京生まれですが、父の故郷の広島に疎開しました。当時 3 歳 5 か月だった箕牧さんは、父を探すため母に連れられ「入市被爆」しました。戦後、大病を患ったり、貧しさのなか働きながら学ぶなどの苦労を重ねてきました。そして、現在に至るまで核廃絶、戦争のない世界の実現に向けとりくまれてきた思いを語りました。



続いて、東京・広島・長崎選出の高校生平和大使と高校生 1 万人署名活動実行委員会のみなさんが登壇。全体を代表し広島選出の高校生平和大使の皆さんが核なき世界に向け



ク、6日に国際シンポジウムとまとめ集会が開催されました。

がんばる決意を述べました。

開会総会に参加した海外ゲストが紹介され、代表してアメリカ・ピースアクションのリリー・ドラグネフさんがスピーチ。世界的な混乱のなかでも希望はありとし、決意をもって草の根の力で現状を打開し、核なき世界をめざしとりくむとしました。

その後、広島音楽サークル協議会のみなさんのリードで「原爆許すまじ」を合唱しました。

広島大会は5日に分科会・ひろば・フィールドワーク、

長崎大会が開始されました

8月7日、長崎市・ブリックホールで「被爆80周年原水爆禁止世界大会・長崎大会」開会行事が行われました。悪天候で飛行機や鉄道の遅延などもありましたが、約1000人が参加しました。

冒頭、高校生平和大使OPで現在大学生の皆さんによるトークセッションが行われました。自らの活動経験を踏まえつつ、核廃絶と平和の実現に向けた思いを率直に語り合いながら、これからの活動の展望を共有しました。

司会の三藤理絵さん（大会実行委員）の呼びかけで、広島・長崎をはじめとするすべての核被害者、そしてすべての戦争被害者への黙とうを、再び過ちを繰り返さない決意を込め、捧げました。



主催者を代表し川野浩一・共同実行委員長があいさつ。自身が5歳で被爆した経験を振り返りながら、しかし悲惨な歴史的事実と痛切な反省が忘却させられつつある危険な日本の現状を指摘。また、パレスチナ・ガザ地区をはじめとする厳しい世界情勢にも思いを致しました。そして、「唯一の被爆国」を自称する日本政府が核廃絶に背を向けていることを批判し、反戦平和の先頭に立つことを求め、そのためにともにがんばろうと訴えました。

本大会に参加された海外ゲストを代表しイ・ヨンアさん（韓国・参与連帯）がスピーチしました。日本による植民地支配を背景に、韓国は世界で2番目に被爆者が多い国ですが、核抑止論も台頭しています。核廃絶をとともにめざすことを表明されました。また、サハラ・アラブ民主共和国外務省外務省のブラヒム・モジタール・アジア局長からのメッセージが紹介されました。



被爆体験者訴訟第二次原告団長の山内武さんと原告団相談役の平野伸人さんから、12 キロ圏内で被爆したにも関わらず、いまだ被爆者と認められないままの「被爆体験者」の皆さんのおかれた状況について訴えられました。残された時間はわずかだとし、一刻も早い被爆者認定と問題の解決を実現するため、ともに声を上げましょうと呼びかけられ、参加者は満場の拍手で応えました。

全国から集まった第28代高校生平和大使・高校生1万人署名活動のメンバーのみなさんが登壇、本年は8月下旬から9月上旬にジュネーブ派遣が予定されている高校生平和大使一人ひとりがそれぞれ決意表明を行いました。また、韓国から来日された高校生の皆さんからもアピールがありました。そして高校生1万人署名活動のテーマソングである「この声をこの心を」の合唱が披露されました。

最後に「原爆許すまじ」を斉唱し、閉会しました。長崎大会は、8日に分科会・フィールドワーク・ひろばなどの企画、9日に閉会総会を開催してきました。

(文責：秋山一 静岡県勤労協連事務局長)

各地区活動報告

☆清水地域勤労協

「清水平和の塔」の清掃を行いました

8月9日(土)、清水地域勤労協は、「清水平和の塔」の清掃活動を行いました。

毎年恒例の奉仕活動として行なわれている平和の塔の清掃と、周辺雑草を刈り取り・手入れを実施しました。

清水平和の塔は、1987年に「非核平和都市」を目指すために市民団体が署名活動を取り組み旧清水市議会は「非核平和都市宣言」を議決しました。市民団体はこの宣言を基に「平和の塔建設」を目指すカンパ活動を展開し、平和の塔建設原資として旧清水市に寄贈



され、1993年2月に建立されました。この塔のデザインの丸い部分は地球を、両サイドは「人」という文字をあらわし、平和と人は互いに共存することを表現し、球形の鏡に写るものは未来を意味しています。

多くの市民は「平和の塔」の存在を知ってもらい、平和への思いを広めていきたいと願い、今後も清掃活動を継続していきます。



静岡新聞にも現地取材され報道されました。(写真左)

平和パネル展を開催

8月4日(月)～8月16日(土) 清水区生涯学習交流館1階ホールに於いて、平和パネル展「第二次世界大戦の真実」を開催しました。

今年は戦後80年ということで、様々なメディアが過去の戦争を振り返る報道をしています。石破首相は終戦の8月15日に合わせた戦後80





年談話を見送り、その一方では全国戦没者追悼式で、「進む道を二度と間違えない。あの戦争の反省と教訓を、今改めて深く胸に刻まねばならない」と発言、2012年の（当時）野田佳彦首相以来13年ぶりに先の大戦に対する「反省」という語句を復活させ論議を呼びました。

日本は被害国であると同時に加害国であることを認識し、いまだに真の平和に至らない世界をどうすればいいのか、考えていかななくてははいけません。戦争の悲惨さと無意味さを、この過去の写真たちが物語っています。

（通信員・静岡県勤協・佐野明子）

2025年 戦後80年核兵器のない平和な世界をめざす 非核・平和写真展が藤枝市内4会場で開催

本年も「2025年 戦後80年、核兵器のない平和な世界をめざす『非核・平和写真展』」（主催. 非核平和都市ふじえだ・市民の会。後援. 藤枝市教育委員会・藤枝市自治会連合会）が藤枝市内4会場で以下の内容で開催されました。

- ・期間8月1～2日 葉梨地区交流センター・期間8月6～7日 西益津地区交流センター
- ・期間8月8～9日 稲葉地区交流センター・期間8月23～24日 藤枝西地区交流センター

同集会は以下の企画で開催されました。コーラス（音楽ボランティア「乙女椿」のみなさん）、戦争体験者のお話（遺族会藤枝支部女性部有志の皆さん）、朗読劇（びわの花朗読の会皆さん）、高校生平和大使・長崎派遣代表の報告と訴え、DVD上映でした。

同集会で注目されたのは、広島に投下された原子爆弾「リトルボーイ」（実物大）の写真パネルでした。

広島と長崎に投下された爆弾の違い

爆弾は核分裂の連鎖反応を利用したのですが、核分裂を起こすための物質として広島は原爆でウランが、長崎の原爆ではプルトニウムが使われました。

広島に投下された原子爆弾は、細い筒状の両端に100%近い濃縮ウラン-235を2つに分離しておきこれを高性能爆薬の爆発で一つに集めて核分裂が連鎖的に起こるようにしたものです。長さ3メートルと、直径0.7メートル重さ4トンで、見た目が細いのでリトルボーイと呼ばれました。この原子爆弾は市街中心地の地上約600メートルで爆発し、通常の爆薬に換算して約16キロトン分の破壊力がありました。人体に障害を及ぼす主な放射線はガンマ線と中性子線で、爆心地から半径約500メートル以内ではさえぎるものがなければほぼ全員が死亡したと思われます。その他に、熱線や爆風などの被害があり、この原爆により9万人から12万人の人が亡くなりました。

一方、長崎に投下された原子爆弾は、プルトニウム-239を球形の中に置いて高性能爆薬の爆発で周りから一気に圧縮させて核分裂が連鎖的に起こるようにしたものです。長さ3.5メートル、直径1.5メートル、重さ4.5トンで、ずんぐり太った感じなのでファットマンと名付けられ



広島に投下された原子爆弾「リトルボーイ」（実物大）
長さ：約3m 直径：約70cm 重さ：約4t
写真/アメリカ国立公文書館所蔵

ました。この原子爆弾は地上約 503 メートルで爆発し、その破壊力は通常の爆薬に換算して約 21 キロトン分あり、広島原爆より強力な爆風による被害も広島より大きくなりました。爆心地が市の中心部分をはずれていましたが、6～7 万人の死者がでました。人体に障害を及ぼす主な放射線は広島原爆と同じようにガンマ線と中性子線でした。

上記の結果、アメリカ側は「原爆投下は戦争を早期に終結させためだ」との主張でしたが、原爆投下は広島がウラン、長崎がプルトニウムであることから、核の実験を検証する為の投下である事が判明している。私たちは「核は核廃絶に向けて、次世代に向けて訴えつづけていく」と原爆 2 世の会の代表の報告に会場からは熱い拍手が決起しました。



第 27 代の高校生平和大使の谷河優那さんからは、2025 年 6 月現在、ロシア、米国、中国、フランス、英国、インド、パキスタン、イスラエル、北朝鮮の 9 カ国が保有する「現役核弾頭」の合計は 9,615 発です。これは前年から 32 発の増加であり、2018 年に「現役核弾頭数」が増加傾向に転じて以降、合計 364 発の増加となります。

「現役核弾頭数」とは、核弾頭「総数」から「退役・解体待ち」弾頭を引いたもので、すなわち実際に配備中のものと、配備に備えて保管されている弾頭の合計を指します。

私たちは「ビリョクではあるが、無力ではない」を合言葉に活動を続けています。核廃絶に向けてこれからも全力で頑張ります。との決意表明を受け、全員で「核廃絶に向けて活動を進めていく」ことを確認してきました。

(通信員・静岡県勤協・秋山一)

☆掛川市勤労協

第 73 回定期大会から

5 月 29 日、西南郷地域学習センターで 73 回目となる定期大会を開催。これからの一年、市民に寄り添い、信頼される組織として機能していくべく、取り組みを充実させていく事を確認し、鈴木久裕会長以下の役員を選出しました。(中略) これまで 30 年近く会長職にあった堀内武治氏には、顧問として引き続き活動に関わっていただきます。

第 15 回非核平和都市宣言アクション 非核平和（戦争の記憶）展

アジア・太平洋戦争終結から 80 年

8 月 7 日（木）～10 日（日）掛川市中央図書館生涯学習ホールで、標記の展示会が開催されました。



ロシアがウクライナに侵攻して 3 年余、国連憲章に反する戦闘は世界各地に飛び火し、これらを収めるために存在してきた国際的機構は何ら機能せず、罪もない人々が犠牲になり、世界は混迷の度を深めています。止められない戦争を始めないための知恵、取り組みに誰もが強い関心を抱いていますが、そのためには過去の事案から教訓を汲み取る努力がとても大切だと思います。

300 万人以上が（大半は餓死で）亡くなった過去の戦争から私たちが何も学べないとしたら、過ちを繰り返すことになります。

終戦から 80 年の今年、戦争への関心が高まっています。空襲の実態などを写真パネルで展示します。何があったか、まず知ってみてください。平和宣言都市の一市民として、何とかしなくちゃ……。ぜひ

ひご来場ください。(掛川勤協 News 第 134 号より)



掛川市に残る戦争遺跡

掛川市勤労協が毎年主催する「非核平和展」を拝見しました。広島、沖縄、藤枝市の資料のほかに、「太平洋戦全国空爆者慰霊協会」（姫路市）で借りた写真パネルもあり、初めて見る日本各地での空襲の惨状が展示されていました。

また、今年も掛川市近郊に残る戦争遺跡の写真があり、興味深く見学させていただきました。

多くの写真が紹介されている中で、「容蜀火薬庫」（写真右）という赤い屋根の建物がありました。キャプションには「写真は当時模擬爆弾に詰めるロウを溶かすボイラーが



あった建物ときく。現在、民家の一部として使用されている」と書かれていました。これでふと、思い出したのが、静岡市葵区にあった「ガス訓練講堂」（写真左下）です。旧陸軍歩兵第34連隊が置かれていた駿府城公園からほど近い城東町地区にあり、隊員たちが毒ガス等から身を守る訓練を行っていたようです。ガスの注入口や排出口、壁一面に扉が設けられた建物は、陸軍の訓練の様子をうかがわせるものとして貴重な施設だったのです。しかし、これも戦後は個人所有となり、2023年6月に所有者の意向により、この建物は解体されました。もちろん、

所有者の意向ですので、何も言うことは出来ないのですが、このような戦跡が一つ、一つと無くなっていくことに残念な気持ちを禁じえません。そうした意味で、この赤い屋根の元火薬庫も、戦争の爪痕を思い出させる遺跡として、いつまでも残っていてほしい、そんなことを願いつつ、掛川の非核平和展を後にしました。

受付をお勤めの掛川勤労協役員様には、親切な説明を受けました。ありがとうございました。

（通信員・静岡県勤協 佐野明子）

☆袋井市勤労協

袋井平和写真展 戦時中の満蒙開拓団の歴史

袋井勤労協の「平和写真展 戦時中の満蒙開拓団の歴史を語る」は、8月11～20日にかけて袋井市役所2階市民ギャラリーで開催されました。今回の平和写真展は「戦後80年と満蒙開拓団の歴史」について主要テーマに設定した事が注目されました。

満蒙開拓のミニ知識

満蒙開拓について、ここではあくまで基本的なことについて述べさせていただきます。

まずは、一般には余り知られていない「満州」や「満蒙開拓」等についての基本的なことを知って頂くことを主眼としていますので、学術的、専門的な視点からはもの足りないと思いますが、前記趣旨からのことですので簡易化、表現省略等をご容赦ください。

※「旧満州」、「満州」等の用語を使用していますが、これらを美化・賛美しよう等の意図ではなく、歴史を正しくそのままに伝えようという意図によるものです。





「満蒙開拓」とは満州に駐留していた日本の陸軍部隊、関東軍による満州事変を経て 1932 年に日本の傀儡（かいらい）国家「満州国」が建国されました。

当時の日本国内は世界恐慌のあおりを受け深刻な経済不況に陥り、特に農村経済を支えていた養蚕業は大打撃を受け、農家は借金を背負い、村や町といった

自治体も負債を抱えていました。1936 年に「満州農業移民 100 万戸移住計画」が国策となります。疲弊した農村の経済の立て直しや食糧増産などを目的に推し進められましたが、背景には「満州国」の支配、防衛といった軍事的な目的もありました。日本の戦況悪化、ソ連軍侵攻。結果として、約 27 万人の開拓団のうち約 8 万人がなくなったと言われています。

満州へ渡った開拓団の悲しい末路

1945 年 8 月 9 日、ソ連侵攻で満州は戦場と化し、開拓団の人たちは広野を逃げ惑います。戦力で圧倒的に勝っていたソ連軍に加え、日本の敗戦を知った現地の人たちも各地で暴動をおこし日本人を襲撃しました。

逃避行を余儀なくされた人々は、満州の広野でコーリャン畑に身を潜めながら歩きました。力尽きた母親が我が子を山に置いてきたり、川に流してきたり、手りゅう弾で殺してもらったという話もあります。

また追い込まれた人々の壮絶な集団自決も多発しました。

敗戦国となった祖国日本からは何の援助もなく帰る手段也没有せん。難民となった開拓団の人々は収容所生活の中、寒さと栄養失調、疫病で大勢亡くなりました。子どもを中国の人に預けたり、売買もされたといひます。「中国残留孤児」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。背景には壮絶な歴史があったのです。

満州国へ渡った農業移民、満蒙開拓団は全国から約 27 万人。そのうち約 8 万人が犠牲になりました。中には青少年義勇軍として組織された少年たちもいました。

「満蒙開拓」は国策として大々的に宣伝され推進されましたが、戦後はあまり語られてきませんでした。それは、あまりに壮絶な体験なのでご本人たちが語ろうとしなかった、地域の中には満州行きを進めた立場の人もいて責任を問われていた、開拓団が手に入れた土地の中にはもともと現地住民の農地だったものもあった、など様々な背景がありました。

今回の平和展に参加された方からは、①国内での大空襲も悲惨な結末でしたが、満蒙開拓団に参加された方たちは私たちの想像を絶する厳しい結末だったと思います。②戦争は常に犠牲を強いるのは、最も弱い地域に住んでいる人々、女性と子供たちでした。③戦後 80 年という節目の年に「満蒙開拓団」と取り上げて頂き、平和の尊さを改めて再確認することができました。-との感想を寄せられていました。



満洲開拓青少年義勇隊訓練所の隊員たち
16歳以上はシベリアへ抑留された

(通信員・静岡県勤協・秋山一)

《静岡ろうきん》
Web完結ローン

24時間いつでも
スマホを
離して
ください!!

Point 1 Webで完結
来店不要

Point 2 24時間いつでも
お申込み可能

Point 3 まだ口座をお持ちでない方
もお申込み可能

Web完結ローン
取扱商品一覧

オートローン 教育ローン ライフローン
無担保住宅ローン 無担保住宅ローン25
福祉ローン 子育て応援ローン カードローン「マイプラン」
※カードローン「マイプラン」のお申込み限度額は100万円まで

お申込み手続き・
お申込み方法等の
詳細はこちら
https://shizuoka.rokin.or.jp/kariru/webloan_sougou/

有担保住宅ローンや具体的なプランが
お決まりでない方は
インターネットローン仮申込みをご利用ください。>>>
インターネットローン仮申込みはこちら
<https://shizuoka.rokin.or.jp/kariru/entry/>

ご注意事項 ●お申込みいただける方/静岡県内にお住まいの方(勤労先の労働組合・互助会等が《静岡ろうきん》の会員の場合は、県外からの申込みも
可能)/満18歳以上(カードローンは満20歳以上)満65歳未満の安定・継続した収入のある方/当会所定の保証機関の保証が受けられる方。●保証人・
担保は原則不要です。●事業資金・投資資金・負債保証資金にはご利用いただけません。●各商品の詳細説明は当会ホームページをご覧ください。●審査の状況によっ
てご来店が必要となる場合がございます。●諸条件によりご希望にそえない場合がございます。

いつもあなたの目標で。
静岡ろうきん

平日 9:00~18:00 フリーダイヤル
0120-609-123
▶音声ガイダンス番号「3」を選択してください

《静岡ろうきん》
ホームページ
静岡ろうきん 検索

《ろうきん》は地域のために活動する団体へ
皆様のご利用に際した寄付を行っています。

みんなの安心を支える保障 こくみん共済

個人定期生命共済・子ども定期生命共済・熟年定期生命共済・傷害共済・個人賠償責任共済・終身生命共済・個人長期生命共済

共済は“たすけあい”の仕組み。
多くの方が加入できるよう、組合員の皆さまの声から生まれた保障です。



こくみん共済 coop 公式キャラクター ビットくん(左)・ビットくんファミリー

子育てをがんばるパパとママを応援!
お子さまのための総合保障

こども 保障タイプ

月々の掛金 **1,200円**

▶ 加入できる方 0歳~満17歳の健康な方

- 入院保障は1日目から最高365日分、日額1万円!
- 子育て・教育のエキスパートがサポートするサービス「こども相談室」を無料でご提供!

入院・手術・先進医療など
医療に手厚い保障

医療 保障タイプ

月々の掛金 **2,300円**

▶ 加入できる方 満18歳~満64歳の健康な方

- 先進医療の保障は最高1,000万円!
 - 入院保障は1日目から、日額1万円!
- ※60歳以降、保障額が変わります。

入院・障がい・死亡まで
幅広くカバーする保障

総合 保障タイプ

月々の掛金 **1,800円**

▶ 加入できる方 満18歳~満64歳の健康な方

- 死亡保障は最高1,200万円!
 - 入院保障は1日目から、日額は最高5千円!
- ※60歳以降、保障額が変わります。

そのほかにも、備えたいリスクに合わせて、充実のラインアップから保障を選べます。詳しくはリーフレットをご覧ください。

こくみん共済 NEWS

「こくみん共済 coop」は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

こくみん共済《全労済》
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

静岡推進本部
(静岡県労働者共済生活協同組合)

1825S002

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご確認ください。